

チェチェン略年表

1682年	ピョートル大帝即位。帝政ロシアがコーカサスへの侵略を開始。
1834～ 1861年	「コーカサス戦争」チェチェン人イマーム・シャミーリの反乱と投降を経て終結。
1917年	ロシア革命。
1920年	ロシア赤軍がコーカサス入り。ソビエト政権に対する民衆蜂起が発生。
1935年	チェチェン・イングーシソビエト自治共和国成立
1944年	スターリン、自治共和国を解体し、チェチェン・イングーシ全民族50万人をカザフスタンなどに強制移住。半数が死亡。
1957年	フルシチョフ、強制移住処分を撤回し、自治共和国を復活させる。
1985年	ゴルバチョフ政権によるペレストロイカ政策が始まり、チェチェン人強制移住の実態がはじめて明らかとなる。
1991年	ソ連崩壊。チェチェン独立宣言。
1994～ 1996年	第一次チェチェン戦争。ロシア軍が軍事侵攻開始。数万人のチェチェン人が犠牲に。ハサブユルト和平合意によって停戦。
1997年	独立派穏健派の アスラン・マスハードフ *が、民主的なチェチェン共和国大統領議会選挙によってチェチェン大統領に選出される。
1999年 8月	モスクワ、ブイナフスク、ヴォルゴドンスクで集合住宅が爆破され、200人以上が死亡。ロシア政府はチェチェン人を犯人だと非難したが、マスハードフ政権は関与を否定。逆にロシア治安機関が犯人だと反論する。 8月7日から9月11日、 シャミーリ・バサーエフ *とハッタブの指揮するイスラム平和維持旅団(IIPB)*がダゲスタンに侵攻。第二次チェチェン戦争のきっかけとなる。 ●8月16日 ウラジーミル・プーチン *、首相に就任「テロ掃討のための作戦だ」
1999年	9月23日第二次チェチェン戦争。ロシア軍の再度の軍事侵攻が開始された。この後10年の間に約25万人が殺害される。 ●12月31日エリツィン大統領引退、プーチンへの権力移譲
2000年	1月30日～31日 独立派首都グロズヌイの籠城から撤退してパルチザン戦に移行。 2月5日 ノーヴィエ・アルディ村の事件 ●5月7日プーチン大統領就任(2008年5月7日まで)
2002年	10月23日 チェチェン独立派、モスクワの劇場を占拠し、ロシア軍のチェチェンからの撤退を要求(ノルド・オスト事件)。交渉を拒否したロシア政府が、毒ガスを注入した上で特殊部隊を突入させ、ゲリラ41人と人質174人を殺害。
2004年	2月6日 モスクワの地下鉄で爆発、40人以上死亡。 5月9日チェチェン共和国首都グロズヌイで開かれた対独戦勝記念式典で爆発、 アフマトハジ・カディオフ *大統領(親ロシア派により2003年任命)死亡。
	9月1日 ベスラン学校占拠人質事件。1270名が人質に。シャミーリ・バサーエフが主謀したことが後の犯行声明で明らかになる。独立派のマスハードフ

	大統領は激しく反対した。ロシア治安部隊が突入し、死者330名に及ぶ大惨事となる。
2005年	3月8日 97年に選出されたマスハドフ大統領、ロシア治安部隊に暗殺される。 ○ラムザン・カディロフ*首相代行となる。
2006年	10月7日 チェチェン報道でロシア政府を批判していたノーバヤ・ガゼータ紙のアンナ・ポリトコフスカヤ*記者、モスクワで暗殺される。
2007年	○2月15日ラムザン・カディロフ、プーチンの意向でチェチェン共和国大統領に任命される。 8月13日 ロシア北西部で旅客列車「ネフスキー急行」が爆発で脱線、60名負傷。
2008年 5月	●メドヴェージェフ*大統領就任
2009年	1月19日 チェチェン問題についての弁護を精力的に行っていたロシアの弁護士スタニスラフ・マルケロフと、ノーバヤ・ガゼータ紙の記者アナスタシア・バブロワが、モスクワの路上で殺害される。チェチェンで少女を強姦殺害したロシア軍将校ブダーノフの釈放に抗議する記者会見の直後に。
	7月15日 「メモリアル」の人権活動家ナタリア・エステミロワ*、チェチェンの首都グロズヌイで何者かに誘拐され、同日中にイングーシ共和国で遺体で発見される。メモリアル側は「カディロフ大統領（親ロシア派）が犯人だ」と非難。
2010年	3月29日 モスクワの二つの地下鉄駅で連続爆発、少なくとも40人が死亡。
2011年	1月24日モスクワ・ドモジエドボ国際空港で爆発事件。35人が死亡。後にドッカ・ウマーロフ*司令官が犯行声明を出す。 ○3月5日 ラムザン・カディロフ、チェチェン共和国首長となる。